

## 検定済種雄牛のCVMキャリア判明に関する件

会員・関係者各位

このほど、社団法人ジェネティクス北海道所有の検定済種雄牛フアーオーラサミーソーサET(JP3H52774)が、遺伝性疾患であるCVM(牛複合脊椎形成不全症)のキャリア「CV」であることが判明したので、ご連絡申し上げます。

本種雄牛はアメリカからの生体輸入牛で、同国での遺伝子型検査でCVM検査済：正常「TV」と証明されており、これに基づいて、日本でも血統登録証明書に「TV」を表示し、平成18年12月から一般供用してきました。

しかしながら、本年7月に登録申込息牛がCVMキャリアと判定され、その母牛がCVM正常であることから、確認のため、父である本種雄牛の遺伝子型検査を行った結果、CVMキャリアであることが判明しました。

本種雄牛は20年2月に廃用しており、ジェネティクス北海道には精液の在庫はありません。

当協会では、この結果に基づき、本種雄牛の登録原簿の遺伝性疾患の表示を「CV」に訂正し、8月15日以降に血統登録および移動証明した産仔等の登録証明書には正しい表示を行っています。

**本種雄牛の産仔等は「CV」である可能性がありますので、産仔等への交配にあたっては「CV」表示のある種雄牛を授精しないよう、ご注意願います。**

また、本種雄牛の産仔等を販売・導入する際には、本種雄牛が「CV」であることを事前に了承・確認する必要があります。

なお、登録済みの産仔等について、登録証明書の更正（本種雄牛欄のCV表示）や遺伝子型調査（CVM判定のみ）を必要とする場合は、本年12月28日までに所定の申込書（更正の場合は登録証明書が必要）を添えて支部・承認団体まで申込み願います。この場合の料金負担はありません。

遺伝性疾患CVMの詳細は、当ホームページの本局トピックス内に掲示していますので、ご参照下さい。

平成21年9月2日

(社)日本ホルスタイン登録協会